

平成 29 年度 上田北幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

園の教育目標

信学会の教育理念「礼節（はい）・忍耐（できた）・誠実（ありがとう）」を受け、上田北幼稚園の特色である恵まれた自然環境を活かした教育活動を軸に、園教育目標『自然と人とあそべ！北っ子！』実現に向けて取り組んでいる。本年度の重点目標

1. 本年度の重点目標

自然とふれあい、人とかかわり、心豊かな子を育む教育活動を通して、以下の具体的な子どもの姿で

- 『き』 気持ちのよい挨拶をする子                      『た』 助け合い、励まし合う子  
『つ』 強い心と体をつくる子                      『こ』 根気よく取り組む子

をめざしてきた。

2. 自己評価

- A…十分達成されている                      B…達成されている  
C…取り組んでいるが、成果が十分でない    D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	B
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	B
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	B
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

3. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- 園を訪れると、園児が「〇〇ちゃんのママ、こんにちは」などとあいさつをしてくれる。また職員のあいさつも元気で明るい。この生活環境の中で、各行事を通し、園児のコミュニケーション能力が伸びてきている。
- 上田北幼稚園の利点である広い園庭、恵まれた周囲の自然を生かして、子どもたちは日々自然と触れ合ってよく遊び込み、たくましく成長している。
- 公開参加の方から、「他園の公開に参加されている知り合いから、『上田北幼稚園の園公開は先生方の対応が温かく、また職員劇、先生方のお話が楽しくわかりやすい』と聞いた」と感想を寄せてもらった。さらに魅力ある園公開を目指したい。
- 焼きいも会、どんど焼き、豆まき会など、家庭ではできない伝統行事を大事にさせていただいてありがたい。

4. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- どんぐり教室、専科教室を持ち、送迎の利便性や経済的なメリット、お預かりが5時まで無料でそれ以降も安価であることなど信学会幼稚園のメリットをもっと広報していったらどうか。
- 仕事を持つ母親が増えている中、負担感のあるPTA活動の在り方を保護者とともに見直していきたい。
- インフルエンザ罹患者が出ている時期の行事参加は、感染拡大に十分留意するとともに、学級閉鎖等の対策も希望保育に配慮しながら早目に判断していく。
- 自治会のご支援で駐車場を冬場借用したり、公園の整備、ゴミ収集場所の提供などをしていただいたりしていることに感謝し、地域にも貢献できる園運営、教育課程を考えていきたい。